

## 外郭団体中期経営計画シート(平成30年度～平成32年度)

外郭団体名	公益財団法人 堺市産業振興センター	設立年月日	昭和32年8月8日設立	所管課	産業振興局 商工労働部 ものづくり支援課
-------	-------------------	-------	-------------	-----	----------------------

### 1. 基本方針

設立目的	求める役割 【所管局】	外郭団体がめざすべき将来像
<p>この法人は、中小商工業者等の経済活動の円滑化と、企業の経営や財務の安定化を推進し、堺市及び南大阪地域の地域産業をはじめとする中小企業の振興を図ることを目的とする。</p>	<p>市内中小企業の経営ニーズに的確に対応できる専門知識や企業情報の蓄積を活かし、中小企業の総合的支援拠点として、堺商工会議所やさかい新事業創造センター等と連携し、個々の企業の経営課題の把握とその解決、経営基盤の強化、また新たなビジネス創出のために積極的な支援を行うことで中小企業振興に寄与する。</p>	<p>市内中小企業が高い技術力を生かし、自社製品の開発、コア技術の専門化等により、新たな製品市場や成長市場に挑戦できている。 情報発信や大手・中堅企業とのビジネスマッチングなどにより販路開拓や取引拡大が進んでいる。 自社の技術力や経営基盤の強化のために多様な人材が確保されている。 以上のような取組により中小企業が持続的な成長を遂げている。</p>

### 2. 環境分析

外郭団体	所管局	外郭団体の対応方針
<p>○国の経済状況の回復に合わせて市内中小企業の経営状況も改善しており、新分野進出に意欲ある企業も増加している。 ○中小企業の経営状況の改善に伴い、人材不足が深刻となっている。 ○伝統産業の事業所は規模も小さく、新たな販路開拓や生産環境の改善等将来を見据えた取組が十分できていない。また、情報発信力も弱く、技術力・製品品質に見合った知名度・認知度を獲得できていない。 ○堺伝統産業会館は、外国人の来館および売上が増加しており、受け入れ態勢の向上が課題となっている。 ○当センターの建物は、30年を経過しており、外壁、屋上防水など各種設備の老朽化が進行している。イベントホール天井が特定天井にあたり、耐震強化工事を行う必要がある。</p>	<p>○市内中小企業の業況は改善傾向にあるものの、今後の業況は不透明感が続くと考えられる。 ○経営環境の改善に伴い、あらたな製品・技術開発、新分野進出に意欲的な中小企業者が増えてきている。 ○中小企業の経営者層となっている団塊の世代が経営の第一線から退き始め、世代交代が課題となっている。 ○生産年齢人口の減少等により、中小企業にとって人材確保が困難な状況にある。 ○平成25年に「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されたこと等により和食調理に必要な和包丁等の海外での需要が高まっている。 ○堺の伝統産業について、全国的な認知度の高さは充分とはいえない状況であり、また技術を承継する人材が不足している。</p>	<p>○健康・医療産業に参入意欲のある企業を「さかい健康医療ものづくり研究会」の会員企業として、重点的に支援する。 ○中小企業の人材確保ニーズに対応し、人材育成機関とのマッチングを実施する。また人材の確保や定着、技術技能の承継に向けたセミナーや研修会を実施する。 ○首都圏、海外での認知向上・販路開拓といった販促サイドに加え、高齢の職人が持つ高い技術のスムーズな継承、生産の効率化や設備の向上など、需給両面からの支援に取り組む。 ○外国人来訪者や百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録の国内推薦決定による観光客の増加に対応すべく、堺伝統産業会館の来館者受け入れ態勢を強化していく。 ○会場利用者のニーズに沿った見直しや新規利用促進のための情報発信とPRに努める。利用者に安全・安心・快適にご利用いただくため、また、施設の長寿命化のため長期修繕計画に基づき改修工事を行う。</p>

#### 4. 中期経営目標(平成30年度～平成32年度)

中期経営目標	<p>○中小企業の技術課題の解決や新分野進出、人材の確保・育成などの支援により、中小企業の経営基盤強化を図り、持続可能な企業体質を構築する。(年間約900件の企業訪問による経営支援、ビジネスマッチングを継続する。ビジネスマッチング件数の内、商談成件数割合は70%を維持する。セミナーなどの満足度については、常に90%以上を維持する。)</p> <p>○堺伝統産業会館を中心に伝統産業や地場産業の振興・販路拡大等支援を継続するとともに、国内は首都圏、海外では欧州、米国、アジアでの販路開拓に取り組む。また職人の担い手不足に対応するため、後継者の育成や生産環境の改善への取組を行う。(堺伝統産業会館の販売額については前期(平成27～平成29年度)比10%の向上を目指す。)</p> <p>○会場利用者のニーズに沿った見直しや利用促進のためのPRIにより、施設使用料収入の増収を図り、自主財源の確保に努める。また、開館後30年を経過し、建物や設備の老朽化に伴い、計画的に改修工事を行ってきているが、利用者に安全・安心・快適にご利用いただくため、引き続き点検に努めるとともに、イベントホール天井の耐震強化工事、防水工事などの改修工事を行う。(会場提供事業の日数稼働率について常に70%以上を確保する。)</p>
	<b>所管局意見【所管局】</b>
	<p>市内事業者の持続的な発展のため、より長期的に将来を見据え、中小製造業者については製品技術開発や新分野進出を促進するため、産学連携、大手企業との連携等によるオープンイノベーションの推進、伝統産業分野においては海外を含めた新たな販路開拓や技能承継など後継者不足への対応・生産環境の改善を図られたい。施設の管理運営については、組織の健全な運営に努めるとともに、利用サービスの改善や施設の改修等を通じて、利用者により快適かつ安全に使用していただけるよう努めていただきたい。</p>



#### 5. 中期経営方針

中期経営方針	平成30年度方針	平成31年度方針	平成32年度方針
	<p>○経営支援 健康医療産業に進出意欲のある企業を訪問し「さかい健康医療ものづくり研究会」に勧誘し、参加企業に対してマッチングなどの支援を行う。 企業の人材確保のニーズに答えるため、公的機関の情報を提供し、同行して求人に対する支援を行う。また、人材定着と人材確保を共に考えることを目的としたセミナーを階層別に連続して行う。</p> <p>○伝統産業の支援 首都圏での販路拡大について、堺市と連携して取り組むとともに、米国、欧州で展示会への出展を行うなど販路拡大に取り組む。また、sakaiknife・会館HP、SNSの活用や堺観光コンベンション協会との連携等により、情報発信の強化や多言語化の推進を行う。堺伝統産業会館は外国語対応スタッフの配置や館内サインの整備など受け入れ態勢の整備に取り組む。</p> <p>○会場提供事業 会場利用者へのアンケート調査を実施し、利用者のニーズを把握する。(3年毎に、アンケート調査を実施し、利用者の満足度等の変化を確認する。) また、利用促進のための情報発信及びPRを行う。本館照明設備改修工事を実施する。平成32年度実施予定の大規模改修工事の設計業務を行う。</p>	<p>○経営支援 さかい健康医療ものづくり研究会加入企業間での連携による新製品開発の気運を高め、技術面や資金獲得面での支援を行う。市内中小企業の動向を注視しながら、成長産業分野の次期ターゲットの研究を進める。セミナー受講者のアンケート調査や企業訪問での情報を活用し、企業ニーズに沿ったセミナーや研修会を企画実施する。</p> <p>○伝統産業の支援 引き続き首都圏、海外での販路拡大に努めるとともに、新たな担い手の育成や生産技術・設備の革新・更新など生産効率向上のための支援策を検討する。堺伝統産業会館では世界遺産登録の進捗に対応し、受け入れ態勢を強化していく。</p> <p>○会場提供事業 前年度に実施したアンケート調査の結果を参考に、会場利用者のニーズに沿った見直しや設備の導入・更新等を行うとともに、利用促進のための情報発信及びPRを行う。平成32年度実施予定の大規模改修工事の入札を行う。</p>	<p>○経営支援 さかい健康医療ものづくり研究での新製品の開発支援やビジネスマッチングの支援に加えて、販路開拓の支援も行う。 市の産業振興アクションプランとの整合性を図りながら、成長産業分野の次期ターゲットの検討を進める。 市内中小企業の新分野進出に向けた新たな成長産業分野に関連したセミナーを実施する。</p> <p>○伝統産業の支援 引き続き首都圏、海外での販路拡大、後継者の育成、技術革新への対応に努めるとともに、この間の取組を検証し、次期方針を決定する。堺伝統産業会館が平成33年度にオープン10年を迎えることから、展示内容・設備の更新に着手する。</p> <p>○会場提供事業 引き続き、会場利用者のニーズの高い、設備の導入・更新等を行うとともに、利用促進のための情報発信及びPRを行う。イベントホールの天井耐震強化工事、スライディングウォール改修工事及び天井照明設備改修工事、並びに外壁防水修理工事を実施する。</p>

#### 6. 特記事項

特記事項【所管局】	
-----------	--